

令和3年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国語】

- 事実と感想を区別して構成を考えたり、資料を活用したりする力が身に付いている。
- 文章全体の構成を捉えて、要旨を把握することができている。
- 文章と図を結びつけて読んだり、複数の情報を結びつけて自分の考えをまとめたりすることに課題がある。

【算数】

- 単位量当たりの大きさの意味や表し方について捉え、正しく計算することができている。
- 図形の構成要素や性質をもとに考察し、式と関係づけて表現する力が身に付いている。
- 複数の情報から必要な情報を選択する問題に課題が見られる。
- 言葉と図をつないで考えたり、言葉と式を使って説明したりすることに課題が見られる。

2 児童（生徒）質問紙に関する結果の概要

- 自分にはよいところがあると実感することができている。
- 家で自分で計画を立てて勉強する力が身に付いている。
- 最後までやり遂げたり、難しいことにも挑戦したりする意識に課題がある。
- 課題の解決に向けて、自分から取り組むことに課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 学びのプロセスを振り返る「書く活動」を取り入れた学習指導の推進
- ・ 算数科の重点単元における少人数指導の実施
- ・ 国語、算数で定着が不十分だった内容の重点指導

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 全校での授業改善を推進する。(アウトプットに重点を置いた学習指導、示された表現方法をもとに計算の仕方を説明したり書いたりする授業)
- ・ 主語、述語、修飾語の関係を捉えさせる、図形の構成要素や性質、表やグラフの読み取り等に重点を置いた朝タイムを行う。
- ・ 日常的に活字に触れたり本に親しんだりする読書活動を行う。

(2) 児童（生徒）質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 学びの習慣化を定着させる「前小スタンダード」を徹底したこと。
- ・ いいところ見つけの取組や「ゆめかなえ！ノート」のコメントなど、教師が子どもの頑張りを褒めることを意識して行ったこと。

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 中学年以上で、段階に応じた「ゆめかなえ！学習」(課題選択学習)を充実させる。
- ・ 学習したことが生活場面で活用できるような課題設定を行う。